

一般社団法人 日本臨床栄養代謝学会

第9回定時社員総会議事録要旨

日時：2022年2月13日(日)13:00~16:00

場所：ステーションコンファレンス東京 501A・B・S ルーム (WEB 会議システム「ZOOM」使用)

議決権のある社員総数 248 名
 総社員の議決権の数 248 個
 出席社員数 238 名 (委任状による出席 207 名を含む)
 この議決権の総数 238 個

議題：

I. 理事長挨拶

定款第5章第21条に則り、第9回定時社員総会を開催することが宣言され、定款第5章第23条に則り、議長は理事長が務め、議事録署名は定款第26条に則り、川畑亜加里代議員、田部井功代議員および長浜雄志代議員にお願いすることになった。現在、まん延防止等重点措置下にあることから委任状による議事参加を主とした定時社員総会としたが、開催にあたっては、一般社団法人法と本学会定款に従った開催形式を遵守したこと、いくつかの重要議案について審議をお願いすることになるため、現地参加が難しい先生方にはWEB視聴との形で議事公開対応させていただいたとの説明がされた。

II. 庶務報告

①会員動向

事務局幹事より、2021年11月30日時点の会員動向および年会費納入状況について、報告された。

■2021年11月30日現在 ※宛先不明 17名含む

会員種別	2020年11月30日	2021年11月30日	増減
名誉会長	2名	2名	±0名
名誉会員	44名	43名	-1名
特別会員	54名	64名	+10名
代議員	256名	248名	-8名
学術評議員(代議員は除く)	468名	494名	+26名
正会員	21,283名	21,417名	+134名
寄贈会員	8名	8名	±0名
総数	22,115名	22,276名	+161名

■職種別

医師	4,606名	管理栄養士	6,343名	言語聴覚士	586名
歯科医師	429名	栄養士	46名	歯科衛生士	112名
看護師	4,005名	臨床検査技師	642名	診療放射線技師	4名
准看護師	2名	理学療法士	454名	その他	619名
薬剤師	4,295名	作業療法士	133名	合計	22,276名

■2021年分会費納入率 ※宛先不明・退会・自動退会含む

会員種別	納入者数	未納者数	納入率(2021年)
代議員	248名	0名	100% (97.3%)
学術評議員	491名	3名	99.4% (95.1%)
正会員	20,745名	672名	96.9% (92.1%)
総数	21,484名	675名	97.0%

②物故会員

名誉会員の足立香代子先生(2021年2月 逝去)、阿部令彦先生(2021年3月 逝去)の逝去を受け、黙祷が捧げられた。

③2021年度事業報告

事務局幹事より2021年度事業報告が提出され、異議なく承認された。

④2022年度事業計画

事務局幹事より2022年度事業計画が提出され、異議なく承認された。

⑤その他

理事長より2022年1月18日付で移転した新事務局紹介がされた。

Ⅲ. 会計関連事項(別冊 会計関連資料 参照)

第36回学術集会の収支報告が鍋谷会長よりされた。中瀬財務副委員長より2021年度貸借対照表、正味財産増減計算書およびその他の財務諸表が説明された。独立監査人の河村真由美公認会計士および倉田監事より2021年度事業の適正であったことの監事報告がなされ、異議なく承認された。続けて、中瀬副委員長より、2022年度会計・各種委員会の予算書(案)が提出され、異議なく承認された。

Ⅳ. 調査報告会 報告

比企理事長より、前理事長に関する調査報告について定款に定める懲戒事由に相当するような事実は認定することはできず、また、本学会の損害になるような事実も認定されなかったとの報告がされた。

Ⅴ. 日本医学会関連 報告

比企理事長より2022年2月に日本医学会から本学会、日本病態栄養学会、日本臨床栄養学会の3学会の理事長との面談の要請があり、理事長、副理事長で参加した。日本医学会からは大きく分けて2つの依頼があった。1点目は、3学会でよく話し合っただきお互いの学会の利点を生かし、日本の栄養学を発展させてほしいこと。2点目は、本学会の日本語名称は、日本臨床栄養学会、英語名称は、日本病態栄養学会と類似しているため、日本医学会における加盟分科会の独自性を明確する目的で、名称変更を前向きに考えてほしいという点であった。1点目は、日本病態栄養学会とJSPEN2023で合同シンポジウムを開催として動き出しており、2点目は、本学会の会員のため、日本の栄養学のためにどうするのがよいか、理事会でよく話し合っただきほしいとの報告がされた。

Ⅵ. 特任顧問の選任について

比企理事長より定款第18条に基づき、特任顧問として平井敏弘先生、平田公一先生の選任が提出され、承認された。

Ⅶ. 理事の退任について

祖父江理事より2021年11月25日付で理事の退任願いが提出されたことが報告された。続けて、定款に定める満66歳役員定年に伴い2022年3月31日付けにて丸山理事が退任されることが報告された。丸山理事より退任の挨拶が述べられた。

Ⅷ. 各種委員会・部会 審議事項

【総務統括部門】

代議員・学術評議員選考委員会(大石理事)

- ・代議員立候補者(新規)選考者 24 名が提出され、承認された。
- ・代議員立候補者(再任)選考者 148 名が提出され、承認された。
- ・理事会推薦による代議員審査申請者 5 名が提出され、承認された。
- ・学術評議員選考者 33 名が提出され、承認された。

【認定・資格検討部門】

認定・資格制度委員会 認定医・指導医・認定歯科医制度(福島副理事長)

- ・認定歯科医制度規約改訂について
暫定認定制度期間の終了に伴い、認定料と終身へ移行年齢を他の認定制度と整合し改定した。なお、認定歯科医暫定認定規約は暫定期間終了に伴い廃止した。また、事務所移転に伴い各規程の提出先住所も事務手続きとしてはじめとした変更内容が提示され、承認された。
- ・認定教育施設 臨床実地修練届出制度移行に伴う NST 専門療法士認定規程改訂について
臨床実地修練届出制度移行に伴う栄養サポートチーム専門療法士認定規程を改訂案が提出され、承認された。

Ⅸ. 各種委員会・部会 報告事項

【総務統括部門】

総務委員会(飯島理事)

- ・新会員管理システム構築進捗報告について
2022 年 5 月頃(予定)に基本機能を実装し、順次機能拡張を進める予定であることが報告された。
- ・事務局機能の拡張(感染対策を含む)による所在地の移転について
事務局内の感染対策と将来の事業拡張も考慮し、2022 年 1 月事務局移転を行った。
移転先：〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 4 丁目 4-3 喜助日本橋室町ビル 4 階
- ・定款施行細則の変更について
 - 1) 復会運用・休会運用変更に伴う定款施行細則変更について、現在の運用と乖離しているため当該規定を変更した。
 - 2) 現行の定款施行細則では、理事予定者会議メンバーの定義が正確に読み取れない表現となっていた。開催運用が定款施行細則上の表記と乖離しないよう当該規定を変更した。また、監事の選任についても現行方法に沿う形で改定した。
- ・グレリン様作用薬アナモレリン塩酸塩；エドルミズ錠®の適正使用の周知について
エドルミズ錠®(小野薬品工業株)は「がん悪液質」に対して 2021 年 1 月に製造販売承認され、4 月 21 日に薬価収載された。予てより国内承認にむけた要望を行いウェブサイトでも周知した。
- ・2021 年度「医師・歯科医師とメディカルスタッフのための栄養管理セミナー」について
今回のセミナーは本学会の協力事業としての位置づけが以前とは大きく異なっていることから、後援について再検討した。これまで辞退回答してきた他学会等との事例と同等の判断が必要であり、従来
の基準に則り、後援承諾は見送りとした。

広報委員会(名徳理事)

- ・「JSPEN メールニュース」配信事業

本学会の事業に関する最新情報を「JSPEN メールニュース」として月2回を基本配信として会員に対して一斉メール配信を行ったことを報告された。

- ・JSPEN「Newsletter」発行事業

2020年1月にVol.1を新規発行して以来、COVID-19の影響で発行できずにいたが、2022年度は2、3回の発行を目指し計画を進めていることを報告された。

規約委員会(石井理事)

- ・定款施行細則 第9章 第25条の変更について

委員会再編成を実施に伴い現行委員会との整合のため、定款施行細則の第25条を改定した。

将来構想委員会(鍋谷理事)

- ・JSPEN-U45 アンケートの実施について

45歳以下の若手会員10名による将来構想検討委員会として「JSPEN-U45(ユーフォーファイブ)」を発足し周知と今後の活動に活かす目的で、全会員アンケート調査を実施した。

- ・企業共催によるメディカルスタッフ対象セミナーについて

JSPEN-U45プロジェクト「Education and Early exposure」の1つとして「研究手法についてのセミナー」を企画した。共催企業も公募し、メディカルスタッフを対象として、数回に分けてオンライン開催する企画を実施する。

- ・JSPEN-U45による「栄養療法ポケットブック」の企画・発刊について

「日本臨床栄養代謝学会 JSPEN テキストブック」をはじめ基礎的な知識を習得する企画本は発刊されているが、これまで初歩的かつ実践的な栄養療法の主だった専門書はない。入門者と目線が近い JSPEN-U45 を交え職能3部会と協力し、栄養療法に関わる医療従事者の育成に貢献のため、ベツトサイドでも活用しやすい「栄養療法ポケットブック(仮称)」の企画・発刊を進める。

- ・JSPEN-U45 ウェブサイト作成について

一般会員にも JSPEN の活動をより身近に感じてもらうため、JSPEN-U45 の活動の進捗情報を発信する場として、JSPEN-U45 ウェブサイトを開設する。活動状況やメンバー紹介をベースとするが、ある程度の節度を保ちつつ、自由闊達な発信の場を委員会で協議をしながら育てていく。

- ・AWARD 受賞者のウェブサイト公開について

近年の AWARD 募集数が減少傾向にあることから、AWARD の周知と、若手の先生の学会活動の目標となるよう、AWARD 選考委員会にも協力していただき、優秀査読者も含めた各 AWARD 受賞者を学会ウェブサイトで公開する。

倫理・利益相反委員会(鷲澤理事)

- ・2021年度倫理・利益相反委員会の活動について

REDCapプロジェクトの研究計画変更などはじめ、持ち回りで倫理審査・委員会を開催した。「倫理的配慮」に関する一般会員からの質問などへの対応について協議した。

- ・本学会の倫理審査に関する基本的姿勢について

年次学術集会発表に関する所属施設の審査が難しい場合の会員対応について、学会ウェブサイトへの掲載と内容について協議した。

- ・2022年度臨床研究定例倫理審査委員会開催日について
年4回の定例審査委員会開催日程を決定した。
- ・臨床研究倫理審査のルール作りについて
本学会の倫理審査委員会が行う倫理審査のルール(審査料金、期日、必要な書類等)について、2022年度の運用のため協議する。
- ・『症例報告に関する倫理的な手続き』について
本学会として症例報告による発表は多数ある。支部学術集会でも認識が統一されていない部分もあるため、今後、周知徹底のため情報公開していく。

支部統括委員会(三原理事)

- ・2021年度の活動について
2021年度は完全WEB形式で各支部学術集会を開催した。支部会運営にあたり事業計画の立案など世話人会の役割を明確した。さらに支部会計および支部学術集会会計を本部会計へ連結した支部運営に移行した。支部長・支部統括委員会合同会議を開催し、問題点や改善点の洗い出しを行った。

【渉外部門】

国際委員会(福島副理事長)

- ・2021年の国際学会について
COVID-19によりASPEN・ESPEN・PENSA・KSPENともにVirtual Congressでの開催となった。JSPENへの国際セッション依頼など、理事長、国際委員会で分担し対応した。
- ・2022年の国際学会について
IASMEN・ESPEN・ASPEN・PENSAの開催日程が案内された。

国際委員会 nutritionDay WG(鷺澤理事)

- ・2021年の活動について
倫理的配慮の観点からESPEN等の行っているnutritionDayを紹介するに留めた。国際担当会議にも参加し、日本のデータは注目が高いことが分かった。登録施設数を増やすためウェブサイトによる啓発や教育セミナーのテーマに取り上げていただけるよう関係委員会と協力して活動していく。

保険委員会(大石理事)

- ・C 105-3 在宅半固形栄養経管栄養法指導管理料の対象となる栄養剤の選定について
現在、対象となる栄養剤はラコール半固形化栄養剤のみとなっているが、本委員会でラコール半固形化栄養剤の粘度等と類似した栄養剤の選定試験を行った。その結果を踏まえて、在宅半固形栄養経管栄養法指導管理料の対象となる栄養剤を厚生労働省に提出するため準備を進める。

【教育・奨励部門】

教育委員会(鍋谷理事)

- ・2022年度NST専門療法士必須セミナーの開催について
オンラインにて2回開催を予定する。セミナーのテキストや講義動画、配信システムは昨年度のものを使用し、確認テストについては全て更新する。10月にはパシフィコ横浜ノースで集合型での開催を予定する。

- ・JSPEN 臨床栄養代謝専門療法士(CNM)セミナーについて
2021年度は「がん領域」セミナーをオンラインにて2021年11月～2022年1月の期間で開催した。2022年度は全9領域のセミナーをそれぞれオンラインにて1回、実地にて1回の計2回ずつの開催を予定する。実地は、10月にパシフィコ横浜ノースで9領域の開催を予定する。

国際教育 WG(高増理事)

- ・2022年のLLLライブコースの開催について
ESPENのシステムによるウェビナーによるLLLの開催準備を進めていることが報告された。

教育委員会 新医師・歯科医師セミナーWG(小山理事)

- ・2021年度NST医師・歯科医師教育セミナーについて
第1回：2021年6月5日・6日にオンラインセミナー(修了者271名)、第2回：2021年10月8日・9日を第58回日本外科代謝栄養学会学術集会時にオンラインセミナーにて開催(修了者234名)した。
- ・2022年度NST医師・歯科医師教育セミナーについて
第1回：2022年3月5日～6日にオンラインセミナー(定員200名)を開催する。

教育委員会 栄養士・管理栄養士部会(斎藤理事)

- ・栄養士・管理栄養士部会会議について
2021年8月5日、11月18日に部会を開催した。
- ・栄養士・管理栄養士部会アドバンスコースの企画と開催について
テーマ:「症例から学ぶリサーチクエストと研究法(仮題)」を準備中であることが報告された。

教育委員会 薬剤師部会(室井理事)

- ・第36回学術集会(JSPEN2021)における薬剤師部会パネルディスカッションについて
薬剤師部会パネルディスカッション「専門領域の知識を発揮したNST薬剤師のアプローチ」を開催した。
- ・日病薬病院薬学認定薬剤師制度研修単位シール交付について
事前登録および当日会場配布を条件として交付を実施した。オンライン参加者への配布を今後の課題とし、単位シールの電子化も日本病院薬剤師会に引き続き要望する。
- ・薬剤師部会アドバンスコースの企画と開催について
テーマ:「医薬品の品質・安全性について科学的根拠を用いて客観的に評価し、患者に安全に輸液栄養療法を提供するためのスキルを身に着ける」を準備中であることが報告された。

教育委員会 看護師部会(清水理事)

- ・看護師部会の開催について
2021年7月5日、12月4日に部会を開催した。
- ・ICUにおける栄養サポートチーム加算算定範囲の拡大について
重症患者に対する適切な栄養介入の普及に繋げるため、現行のNST加算が算定できることを目的に、学会員施設の現状と要望についてアンケート調査を予定していることが報告された。

【認定・資格検討部門】

認定・資格制度委員会 認定医・指導医・認定歯科医制度(福島副理事長)

- ・認定医試験結果について
2021年10月10日の認定医認定試験にて、31名が合格し、認定医として認定した。
- ・指導医の認定について
10名について資格条件を満たしていることを確認し、指導医として認定した。
- ・2021年度指導医資格更新審査結果について
6名について更新条件を満たしていることを確認し、指導医として更新認定した。
- ・2021年度指導医終身認定移行者について
16名を終身指導医として移行した。
- ・2021年度認定医資格更新審査結果について
23名について更新条件を満たしていることを確認し、認定医として更新認定した。
- ・2021年度認定医終身認定移行者について
41名を終身認定医として移行した。
- ・認定歯科医試験結果について
2021年10月10日の認定歯科医認定試験について、10名が合格し認定歯科医として認定した。

認定・資格制度委員会 NST 専門療法士制度(三原理事)

- ・2021年度NST専門療法士認定試験結果報告について
受験申請者675名(前年より+37名)のうち、受験者数は527名(前年より+57名)であった。受験回避制度申請は143名(2022年度へ引継ぎ)であった。平均点は62.25点と昨年66.36点を下回った。合否判定を審議した結果、444名を合格とした。合格率は84.25%であった。
- ・2016年認定のNST専門療法士の認定更新について
COVID-19拡大の影響を受けて、個人認定資格の認定期間を5年間から6年間へ一律延長した。
昨年度見送られた2016年認定の更新認定業務を予定通り実施した。更新対象者1,479名、更新申請受付1,352名(内書類不備2名/辞退3名含む)、未更新者127名、更新認定者1,437名
- ・2021年度認定教育施設新規および更新について
更新対象93施設のうち、89施設が更新の手続きを行い、引き続き認定教育施設として認定した。
新規認定教育施設は20施設あり、審査を経て認定された。
- ・学会の認める全国学会・地方会・研究会について
2021年度の新規申請はなかった。2単位付与の研究会を対象として、COVID-19の影響でオンライン開催とした場合の単位認定を希望される研究会は、所定の申請書の提出をもって、本委員会で審議の上、単位付与を行った。
- ・2021年度認定試験ワーキンググループについて
試験問題作成担当(試験官担当兼務)、試験問題選択担当(症例報告書審査兼務)として活動した。
- ・2021年NST専門療法士更新必須セミナーについて
COVID-19の影響により、座学開催は中止し、オンラインセミナーとして年3回実施した。
- ・2022年NST専門療法士更新必須セミナーについて
2021年の日程と会場、講演内容にて検討していることが報告された。
- ・2022年認定試験について
2022年10月30日(日)に国立京都国際会館で開催を予定し、認定医・認定歯科医も同日開催予定する。
- ・認定教育施設の実地修練の実施運用制度の変更について

認定教育施設制度規則に基づき、認定教育施設は翌年の修練計画を前年 12 月中に本委員会へ提出する。本運用は 2021 年 12 月 1 日以降実施の臨床実地修練より適用とした。

認定・資格制度委員会 臨床栄養代謝専門療法士制度(佐々木理事)

- ・暫定臨床栄養代謝専門療法士認定について
96 件の申請があり、認定・資格制度委員会および本 WG で審査し、一部の領域選択の変更も含め 96 名を有資格者として認定した。申請は増加傾向にあるが、暫定申請は 2023 年度(令和 5 年度)で最終となるため、引き続き会員周知を行う。

NST 委員会(中瀬理事)

- ・第 36 回学術集会 NST フォーラムについて
テーマ：「NST のこれまで・今・これから」として開催した。
- ・NST 稼働認定施設更新における施設参加クレジット制度について
第 36 回学術集会より NST 稼働認定施設更新(2024 年秋申請以降) 要件となる NST フォーラム参加クレジットの登録が開始された。
- ・第 37 回学術集会 NST フォーラムについて
テーマ：「わたしたちがつくる未来の NST」を企画した。
- ・NST 稼働認定施設申請結果報告(別途資料表 1、表 2、表 3、表 4)
新規申請 19 施設、更新申請 60 施設が申請し、うち 1 施設は新病院として新規申請に変更した。2 施設が辞退し、結果 57 施設を更新認定施設とした。
- ・NST 稼働認定施設のコアスタッフの勤務形態について
コアスタッフの常勤定義について「就業証明書で施設長が認めていけば問題ない」とし、学会ウェブサイト Q&A にて対応することになった。
- ・認定申請書類の症例レポートに対するチェック表添付について
新規・更新申請時に提出する症例レポート書式が統一されていないため、次回からチェック表を添付しての申請とした。

【学術部門】

編集委員会(鍋谷理事)

- ・「学会誌 JSPEN」年度別掲載状況について(2022 年 1 月 11 日現在)
2020 年度は 56 件、2021 年度は 61 件が掲載された。COVID-19 の影響により地方会開催が制限されたことなどを受けて抄録掲載数が減少した。
- ・「学会誌 JSPEN」投稿状況について(2022 年 1 月 11 日現在)
投稿数は、2020 年度は 62 件、2021 年度は 49 件であった。
- ・論文投稿から採択までの日数について(2022 年 1 月 11 日現在)
2020 年度は採択数 31、最短日数 42 日、最長日数 526 日、採択までの平均日数は 213 日であった。
2021 年度は採択数 15、最短日数 26 日、最長日数 235 日、採択までの平均日数は 103 日であった。
採択決定後、6 カ月以内に掲載している。
- ・「学会誌 JSPEN」J-STAGE 公開状況について(2022 年 1 月 11 日現在)
Vol. 2 No. 3 : 2021 年 2 月 12 日、No. 4 : 4 月 2 日、No. 5 : 5 月 25 日
Vol. 3 No. 1 : 8 月 25 日、No. 2 : 11 月 25 日、Vol. 3 Sup. 1 : 10 月 25 日

※学会ウェブサイトにて公開後6カ月が経過した学会誌からJ-STAGEにて一般公開される。

※Sup. 1は第36回学術集会抄録を収録した増刊号となる。

・投稿規程の改定について

編集委員会にて審議を重ねた投稿規程改定案について、2021年度第22回持ち回り理事会にて承認された。改定案は、2021年11月26日より施行した。

・本学会著作物に対する転載許諾申請について

2021年8月より編集委員会にて、転載許諾申請の管轄運用とした。

・編集業務一部外部委託について

これまで組版やJ-STAGEへの登載業務の一部の編集業務を大村印刷(株)依頼していた。契約更新年となり、査読事務など編集業務の外部委託について検討した結果、他学会でも実績のある中西印刷(株)編集業務の外部委託をすることを決定した。

・優秀査読者賞 受賞者選出について

査読の回数、内容、期限などの評価により本委員会で選考し、以下の2名を受賞者として選出した。
原 拓央 先生(厚生連高岡病院)、藤井 航 先生(九州歯科大学)

・用語解説論文執筆状況について

「フレイル」(Vol. 3 No. 2) 葛谷雅文先生(名古屋大学)掲載済

「カテキン」(Vol. 4 No. 1) 杉山彰英先生(昭和大学)掲載予定

学術集会実践支援委員会(犬飼理事)

・第39回日本臨床栄養代謝学会学術集会(鷺澤尚宏会長)の会期変更について

会期 2024年2月29日(木)~3月1日(金)→2月15日(木)~16日(金)

会場：パシフィコ横浜 ノース、アネックス

AWARD 選考委員会(山中理事)

・組織再編成による3つのワーキンググループ(WG)の統合について

記念AWARD選考WG、学術AWARD選考WG、フェローシップ選考WGを統合し本委員会を編成した。

・大柳治正記念学術振興アワード受賞者・関連講演演者について

前期からの申し送りを確認し持ち回り委員会を開催し、名誉会員の中村丁次先生に決定した。

受賞者：中村丁次先生(神奈川県立保健福祉大学 学長)

関連講演：倉貫早智先生(神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 教授)

小栗靖生先生(京都大学農学研究科食品生物科学専攻食品健康科学講座 助教授)

・小越章平記念 Best Paper in The Year 2021 選考について

7件の応募があり下記論文の受賞を決定した。今回優秀な論文が多く上位2名が拮抗していたため、2名を受賞者として選出した。第37回学術集会にて記念講演の予定である。

受賞者：井山 諭先生(札幌医科大学 血液内科)

タイトル：造血幹細胞移植における経鼻胃管を用いた早期栄養療法

受賞者：中村謙介先生(日立総合病院 救急集中治療科)

タイトル：集中治療における適正投与とタンパク質量の検討：単施設無作為化比較臨床試験 RCT

・JSPEN スカラーシップ賞 2021 について

今回の応募申請はなかった。

・JSPEN YOUNG DOCTORS AWARD について

組織編成に伴い JSPEN YOUNG DOCTORS AWARD は YOUNG INVESTIGATOR AWARD へ統合した。

- ・ YOUNG INVESTIGATOR AWARD 2022 について

4 件の応募があり、下記論文の受賞が決定した。

受賞者：升井大介先生(久留米大学 医学部 外科学講座小児外科部門)

タイトル：重症心身障害者における食道インピーダンス pH 検査による胃瘻術前後の評価
～噴門形成術は本当に必要ですか?～

- ・ フェローシップ賞選考規程の変更について応募資格について

初応募の会員への配慮として、文言統一と「参加、演題応募が受賞の必須条件であること」、「演題採用、発表が副賞(賞金)の必須条件であること」が明確になるよう規程を変更した。また、組織再編成に準じる形でフェローシップ WG の表記を AWARD 選考委員会に変更した。

【臨床栄養推進部門】

ガイドライン委員会(山中理事)

- ・ がんの栄養ガイドライン作成 WG 報告

がんの栄養ガイドライン作成ワーキンググループとして、Minds 3 班+Narrative 班を組織し、活動していることが報告された。現在、Minds で行う CQ と推奨の作成、Narrative による推奨の作成、今後のスケジュールについて報告がされた。

臨床栄養コンセンサス検討委員会(犬飼理事)

- ・ 「日本臨床栄養代謝学会 JSPEN コンセンサスブック 1 がん」の発行について
第 37 回学術集会に併せて発行を進めていることが報告された。

臨床研究委員会(丸山理事)

- ・ 短腸症候群に関するアンケート調査のプロジェクト

「短腸症候群に関するアンケート調査」を行うことを決定し、会員施設へ短腸症候群の一次、二次アンケート調査を行い、本邦での短腸症候群の現状を検討することになった。

P 001 : REDCap プロジェクト(飯島理事)

- ・ 在宅半固形栄養経管栄養法指導管理料の算定に関する EDC を用いた症例登録型データベース構築事業について
COVID-19 により症例集積の遅れが発生しているが、研究期間の延長を倫理審査委員会にて申請し承認された。引き続き啓発をしていくことになった。

P 003 : 誤接続防止対策プロジェクト(丸山理事)

- ・ 厚生労働省調査会と旧コネクタ 1 年間延期について

令和 2 年度薬事・食品衛生審議会薬事分科会医療機器・再生医療等製品安全対策部会安全対策調査会に参加し、新規コネクタの本邦への導入、重症心身障害児におけるミキサー食注入と新規コネクタの問題点を協議した結果、厚生労働省より旧コネクタの販売を 1 年間延長することが決定した。

- ・ 令和 3 年度厚生労働科学特別研究事業コネクタ関連班会議

令和 3 年度厚生労働科学特別研究事業：経腸栄養分野の小口径コネクタ製品の切替えに係る課題把握及び対応策立案に向けた研究(長尾班)に参加した。本学会の分担として新規コネクタの海外情報の収集・分析、およびミキサー食注入基礎実験を担当した。

- ・新規コネクタなどを用いたミキサー食注入基礎実験
2021年10月12日に(株)島津テクノサーチにて、市販ミキサー食2種類を、シリンジに入れて、コネクタ、チューブを装着し、注入圧を測定する実験を行った。
- ・ISO新規コネクタとミキサー食注入の海外情報収集と分析
厚生労働省の班研究の一環として調査を行った。①海外学会/団体からのアプローチ (ESPEN, FELANPE, the Oley Foundation に質問状送付)、②GEDSAからのアプローチ：米国PEGミキサー食関連のドクター、ナースへの質問状、③企業からのアプローチ (本研究班より紹介) 世界企業への協力要請。以上の3方向から情報を収集した。

P 011：短腸症候群アンケートプロジェクト(丸山理事)

臨床研究委員会報告を参照のこと。

X. 第40回学術集會会長選出

第40回(次々回)学術集會会長に、比企理事長が立候補され、全会一致で承認された。

会期：2025年2月13日～14日(予定)

会場：未定

XI. 第37回学術集會会長挨拶

飯島会長より、ハイブリット形式での開催形式で準備を進めていることが報告された。

会期：2022年5月31日～6月1日

会場：パシフィコ横浜ノース

XII. 第38回(次回)学術集會会長挨拶

小谷会長の代理としてプログラム委員長の高橋路子先生より、ポスター案とテーマ紹介がされた。

会期：2023年5月9日～10日

会場：神戸国際会議場・国際展示場・ポートピアホテル

XIII. 第39回(次々回)学術集會会長挨拶

鷲澤会長より、会期変更の案内と準備状況について報告がされた。

会期：2024年2月15日～16日

会場：パシフィコ横浜ノース全館、アネックス

XIV. 名誉会員・特別会員推戴 表彰

大村健二先生、海塚安郎先生が出席され、比企理事長より推戴状が授与された。当日ご欠席の先生には、推戴状と記念品をお送りした。

<名誉会員>

大村健二 (上尾中央総合病院)

田妻 進 (JA 尾道総合病院)

丸山道生 (田無病院)

<特別会員>

大平雅一 (ペガサス馬場記念病院)

海塚安郎 (製鉄記念八幡病院)

北原修一郎 (長野赤十字病院)

柴田佳久 (総合青山病院)

藤井映子（甲南女子大学）
八木 実（鶴岡市立荘内病院）
横山 正（赤穂市民病院）

（推戴者五十音順・敬称略）

XV. 各 AWARD 表彰

2021 年度に選考された AWARD 受賞者が報告された。各賞の受賞規程に従い表彰手続きを行う。

○小越章平記念 Best Paper in The Year 2021

受賞者：井山 諭（札幌医科大学 血液内科）

タイトル：造血幹細胞移植における経鼻胃管を用いた早期栄養療法

受賞者：中村謙介（日立総合病院 救急集中治療科）

タイトル：集中治療における適正投与タンパク質量の検討：単施設無作為化比較臨床試験 RCT

○YOUNG INVESTIGATOR AWARD2022

受賞者：升井大介（久留米大学 医学部 外科学講座小児外科部門）

タイトル：重症心身障害者における食道インピーダンス pH 検査による胃瘻術

前後の評価～噴門形成術は本当に必要ですか？～

○優秀査読者賞 表彰

受賞者：原 拓央（厚生連高岡病院 外科）

受賞者：藤井 航（九州歯科大学歯学部口腔保健学科）

以 上

2022 年 2 月 13 日(日)